



※題字のイラストは「新潟」の手話表現。
左右の手のひらを交互に前後に動かす
(港に出入りする船の様子から)



写真左：森川さん(聴覚障がい者) 写真右：朝妻さん(同僚)

手話を通じて 思いが伝わるまちへ

4月1日に新潟市手話言語条例を施行しました。この条例は、「手話は言語である」との認識に基づき、全ての人が心を通わせ、お互いの人格と個性を尊重し合う社会の実現を目的として制定したものです。

手話を必要とする人が日常生活や社会生活を円滑に行うことができ、誰にとっても安心して暮らせる新潟市にするために、聴覚障がいや手話について考えてみましょう。☎障がい福祉課(☎025-226-1238、FAX)025-223-1500

目次 CONTENTS

- 2 | 特集 |
**聴覚障がいと
共に生きる**
- 3 | にいがたCITY NOW
●バス利用者へのアンケートにご協力
●国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭開会式入場者募集
●避難情報の伝え方を変更
- 4 | ●花火大会有料観覧席を販売
●ミズベリング信濃川やすらぎ堤
●新婚世帯への補助受け付け開始
●市報にいがた読者アンケート
- 5 | 連載 子育て応援通信
国民文化祭、
全国障害者芸術・文化祭
おでかけナビ

他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています

「伝えたい」気持ちが大切

聴覚障がいのある人とコミュニ

域や年代で微妙な違いがあります。知り合いの若者たちは、「や」の指文字を2つ重ねて「やばい(倍)」という意味で使っています。時代が移り変わるに連れて新しい言葉が生まれるように、手話も日々変わり続けています。

思っています。

持つ人が増え

例の制定をきっかけに聴覚障がいへの理解がより深まり、少しでも手話に興味を持つ人が増えたいと思います。

日常でよく使う
手話はここで
チェック
(県ホームページ)

手話は一つの言語

手話は、確立した文法を持つ一つの言語であるといえます。名詞や動詞などの単語を表す手の動きや、平仮名1字ずつに対応した指文字を組み合わせて会話をします。「私が」や「あなた」といった意味合いを伝えるときは、手の動きに加えて体の向きや視線を変えたり、指差しを使ったりします。また、音声言語では声のトーンで感情を表すように、手話では手の動きの大小、強弱や顔の表情で気持ちを伝えます。「ありがとう」の手話も、相手の目を見ながら笑顔ですると、より感謝の気持ち伝わると思います。

聴覚障がいのある人は、街で手話を使って会話できる人に出会うととても身近に感じるといいます。手話言語条例の制定をきっかけに聴覚障がいへの理解がより深まり、少しでも手話に興味を持つ人が増えたいと思います。



新潟市手話サークル
連絡協議会会長(手話通訳者)
鈴木和美さん

手話はお互いをつなぐ コミュニケーションツール

